

守谷中学校教職員コンプライアンス宣言

守谷市立守谷中学校長 直井 健治

守谷中学校教職員は、不祥事根絶に向けて教職員一人一人が「自分事として考える」意識を高め、法令順守はもとより、不祥事未然防止に向け、自治的・自律的・自助的・共助的な組織力の向上及び強化を図ります。

1 法令及び不祥事防止のためのルールを遵守するための具体的な対応策等。

組織的対応を基本とした「報告・連絡・相談・確認」の徹底

本校職員が一人で抱え込まず組織で対応することを基本とし、学年主任や管理職に常に情報共有することを徹底します。また、本校職員が何でも話し合い向上し合える同僚性を高めます。

2 体罰・わいせつ・セクハラの根絶に向けた具体的な対応策等

「さわらない、ひとりでやらない、つながらない」

3つの「ない」をキーワードに生徒と接します。また、守谷中の教職員は、いつも生徒に「目をかけ 気をかけ 声をかけ」、よりよい人間関係づくりを大切にします。

3 個人情報の管理を徹底するための具体的な対応策

紙（など）は、手続きが完了するまで保管

テストや成績等の印刷物は、処分ができる状況まで保管し紛失を防ぎます。また、その他の個人情報の室外持ち出しは厳禁とし管理を徹底します。

4 交通法規・安全運転の順守徹底、飲酒運転の根絶等

宴席への自家用車はNo!

飲酒を伴う宴席への自家用車での参加は、原則禁止とします。公共交通機関を利用したり職員同士で送り合ったりして、飲酒運転が生じる環境をつくりません。

5 コンプライアンス意識の日常化を目指した「オンタイム・コンプライアンス研修」の実施

「より自分事」として捉える

より高いコンプライアンス意識をもち職務に従事できるよう、コンプライアンスに係る時事的情報を本校職員に発信する「オンタイム・コンプライアンス研修」を行います。

国や県の通知文より早く事故や事件の内容を事例として取り上げ、本校として起こりうる現象を想定し、より具体的な対策を講じる契機とします。